



**2026年 2 月期
第 3 四半期決算説明資料**

2026年1月14日

株式会社ツインバード 証券コード：6897

2026年 2 月期 第 3 四半期決算（累計）ハイライト

当 3 Q累計期間は、価格改定、継続的な原価低減及び積極的な新製品投入などの収益改善施策を実行するものの、円安や物流費の上昇などによる物価高に対して実質賃金の上昇が追いついていない状況が消費行動に変化を与えていることに加え、市場の競争激化により前年同期比減収減益。

※当 3 Q会計期間の業績については、補足資料P14を参照

売上高

65.4億円

(前年同期比 △2.1%)

四半期純利益

△4.7億円

(前年同期比 △2.6億円)

売上総利益率

28.2%

(前年同期比 +0.3pt)

家電製品事業
セグメント利益*

1.5億円

(前年同期比 △16.4%)

営業利益

△4.2億円

(前年同期比 △0.2億円)

FPSC※事業
セグメント利益*

0.4億円

(前年同期比 +127.2%)

経常利益

△4.6億円

(前年同期比 △1.1億円)

自己資本比率

66.3%

(前期末比 △4.9pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 6.2億円）を除外

目次

1. 2026年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2026年2月期 第3四半期（累計）決算概要

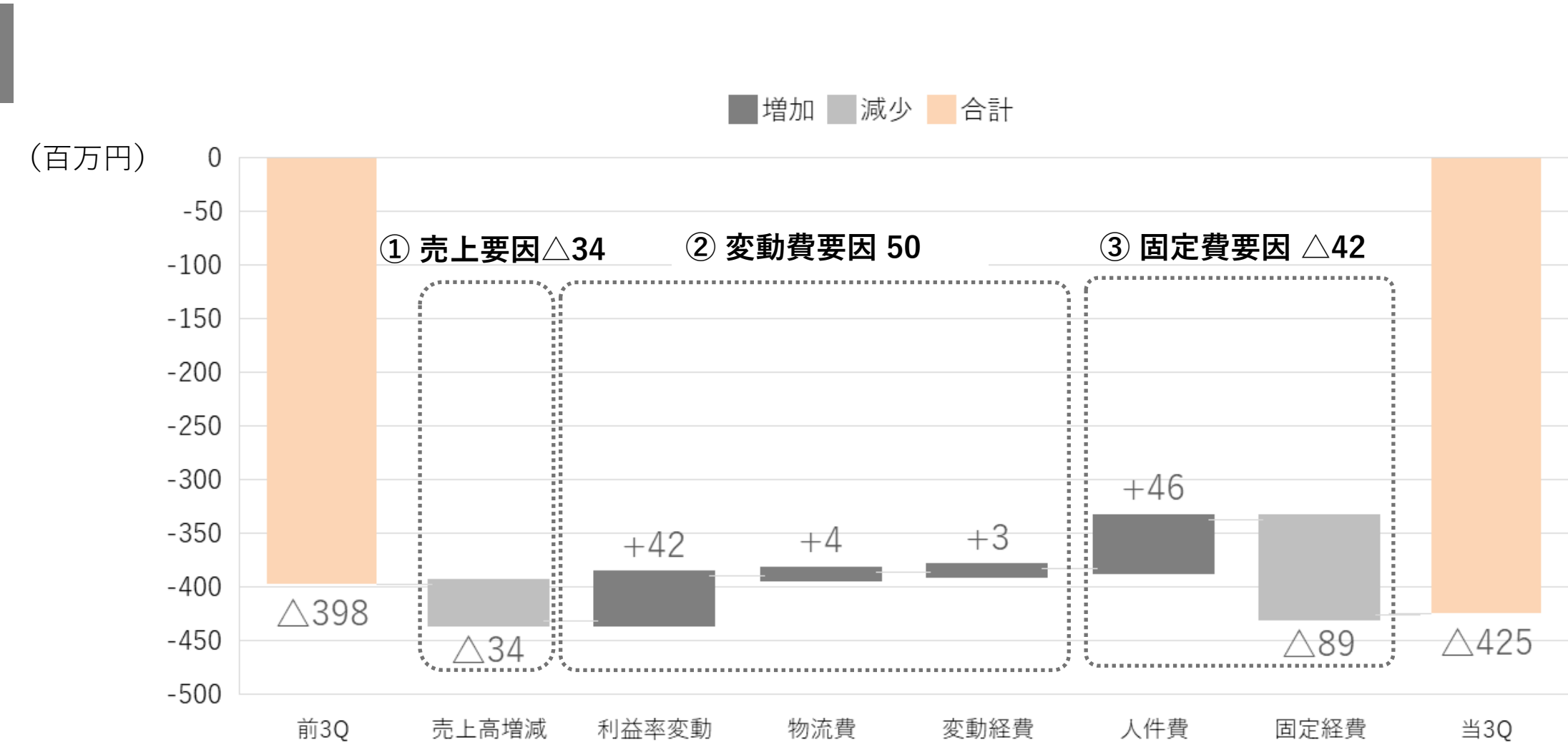
2. 2026年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 第 3 四半期（累計） 損益概況

単位：百万円	2025年度	2024年度			(参考)
	3Q 累計 実績	3Q 累計 実績	前年同期比		2025年度 通期 業績予想
			差額	増減率	
売上高	6,547	6,690	△142	-2.1%	10,500
売上総利益	1,843	1,862	△18	-1.0%	
売上高比	28.2%	27.8%	0.3pt		
販売費及び一般管理費	2,269	2,260	8	0.4%	
売上高比	34.7%	33.8%	0.9pt		
営業利益又は営業損失（△）	△425	△398	△27	-	150
売上高比	-6.5%	-6.0%	-		1.4%
経常利益又は経常損失（△）	△464	△347	△116	-	120
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△471	△208	△263	-	100

2026年 2 月期 第 3 四半期（累計） 営業利益：前年同期比増減の要因分析

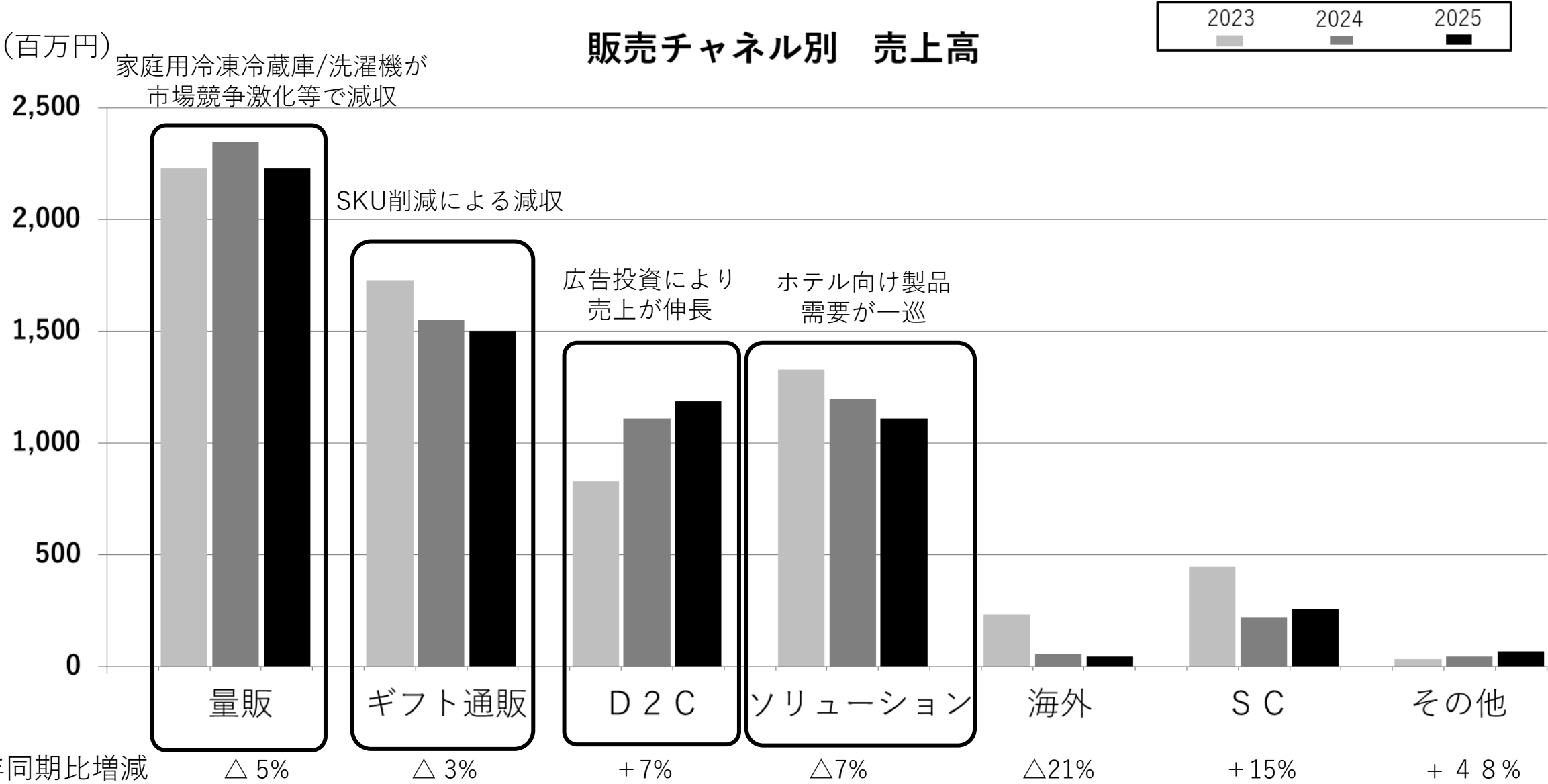


2026年 2 月期 第 3 四半期（累計） セグメント別業績概況

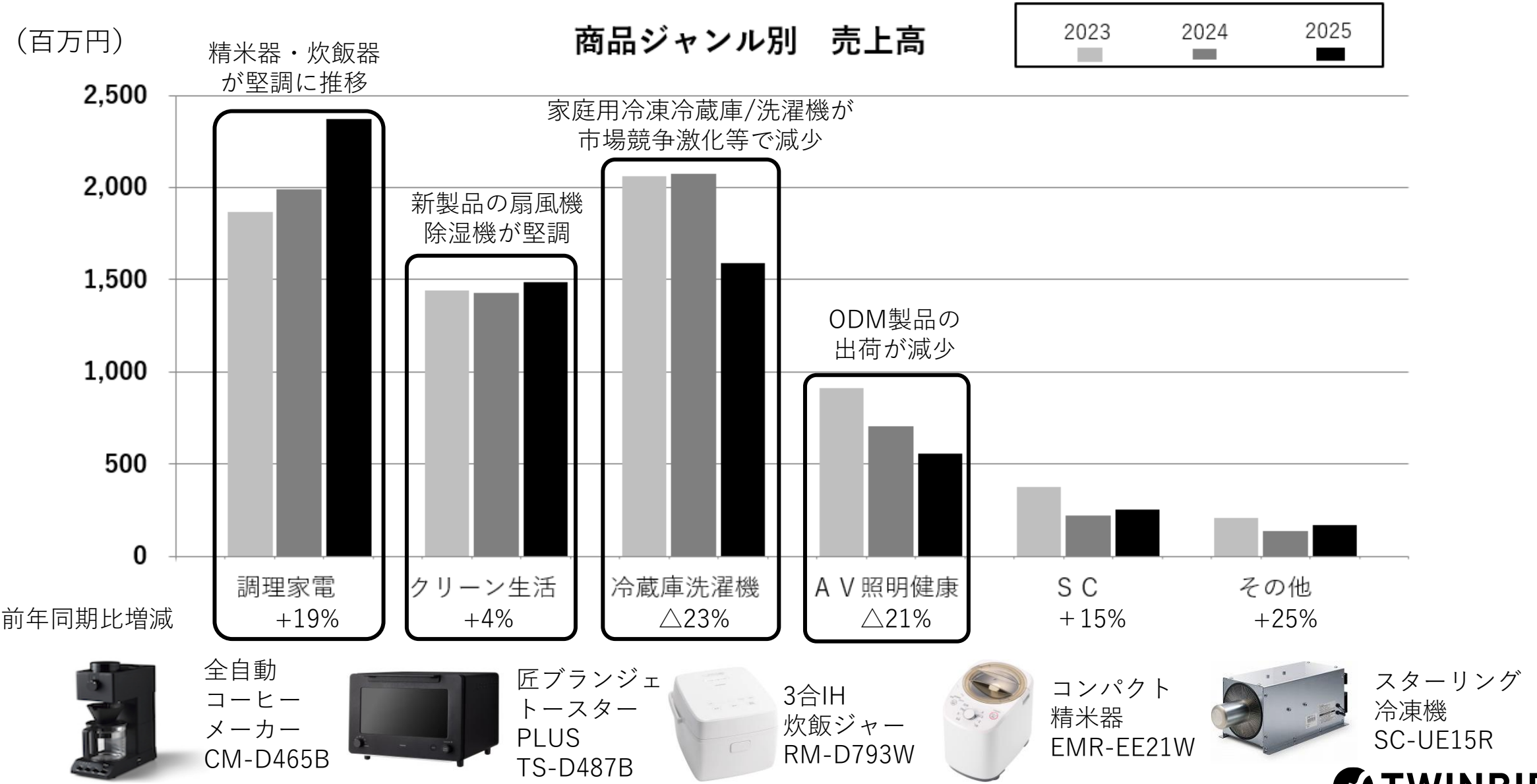
- 家電製品事業は、備蓄米の放出に伴う需要増加を背景に精米器・炊飯器の販売が堅調に推移。年末及び新生活商戦に向けてななめドラム式洗濯乾燥機、匠ブランジェトースターPLUSなどの戦略的新商品を順次販売開始。価格改定や原価低減により収益性を改善したものの、11月以降、本格的な年末商戦期において冷蔵庫・洗濯機市場の競争激化により販売が低調に推移し、前年同期比減収減益。
- FPSC事業は、燃油計測器や校正器の主力取引先においてコロナ禍明けの需要回復を受けて当社への受注も堅調に推移したことにより、前年同期比増収増益

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2025年度 3 Q 累計 実績	2024年度 3 Q 累計 実績	前期比 差額	成長率	2025年度 3 Q 累計 実績	2024年度 3 Q 累計 実績	前期比 差額	成長率
家電製品事業 売上高比	6,287	6,439	△152	△2.4%	156 2.5%	186 2.9%	△30 -0.4pt	△16.4%
FPSC事業 売上高比	260	250	9	4.0%	48 18.5%	21 8.5%	26 +10.0pt	127.2%
調整額					△629	△606	△23	
全社 計 売上高比	6,547	6,690	△142	△2.1%	△425 △6.5%	△398 △6.0%	△27 —	-

2026年 2 月期 第 3 四半期（累計） 販売チャネル別 売上高の推移



2026年 2 月期 第 3 四半期（累計） 商品ジャンル別 売上高の推移



2026年 2 月期 第 3 四半期末 貸借対照表

単位：百万円	2025年度 3 Q末	2024年度 前期末 増減		2025年度 3 Q末	2024年度 前期末 増減
現預金	940	610	330	仕入債務	167 189 △22
売上債権	1,287	1,966	△679	短期借入金	1,500 1,500 -
棚卸資産	3,753	3,139	613	長期借入金	967 460 507
その他	384	370	14	その他	1,094 975 119
流動資産 計	6,366	6,087	278	負債 合計	3,729 3,124 604
有形固定資産	3,650	3,572	77	資本金・資本剰余金	5,149 5,149 -
無形固定資産	556	676	△120	利益剰余金	2,036 2,649 △613
投資その他資産	500	530	△30	その他	157 △56 213
固定資産 計	4,706	4,780	△73	純資産合計	7,343 7,743 △399
資産 合計	11,073	10,868	204	負債 & 純資産合計	11,073 10,868 204
				自己資本比率	66.3% 71.2% △4.9pt

目次

1. 2026年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 通期業績予想（2025年 4 月14日公表値から変更なし）

- 家電製品事業は、最大の需要期を迎える新生活商戦において、匠ブランジェトースターPLUS、ななめドラム式洗濯乾燥機やリフライオーブンレンジなど、戦略的新商品を中心に売上拡大を図るとともに、「匠プレミアム」ブランドの新商品である匠クラフトドライヤーを新たな販路として美容室ルートを中心に12月より発売しパートナーと連携して拡販。業績を下支えするB2B等の販売チャネルに向けたお取引先のPB（プライベートブランド）新製品やODM（相手先ブランドによる開発設計製造）新製品を供給開始、更に第4四半期において納品予定。海外展開では、「匠プレミアム」シリーズの全自動コーヒーマーカー及び匠ブランジェトースターを東アジアの一部地域において1月下旬より販売開始。利益面については、価格改定及び売上増加に伴う利益の増加、原価低減の推進、ローコストオペレーションの徹底により収益性改善を図る。
- FPSC事業は、2024年10月に取得した世界保健機関（WHO）が定める医療機材品質認証（PQS）を活かし、2025年8月にアフリカ開発会議（TICAD、横浜）、9月にアジア最大級の分析機器展示会（JASIS、東京）、そして、11月に東京都のご支援を頂き、ドイツにて開催された世界最大級の医療機器見本市である「MEDICA2025」にも出展し営業活動を推進。また、経済産業省支援の新規輸出1万者支援プログラムを通じて、営業活動を強化。

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	増減率
売上高	10,500	10,056	443	4.4%
営業利益	150	4	145	—
売上高比	1.4%	0.0%	1.4pt	
経常利益	120	42	77	180.4%
当期純利益	100	△101	201	—

目次

1. 2025年2月期 第3四半期（累計）決算概要

2. 2025年2月期 通期業績予想

補足資料：四半期別業績数値

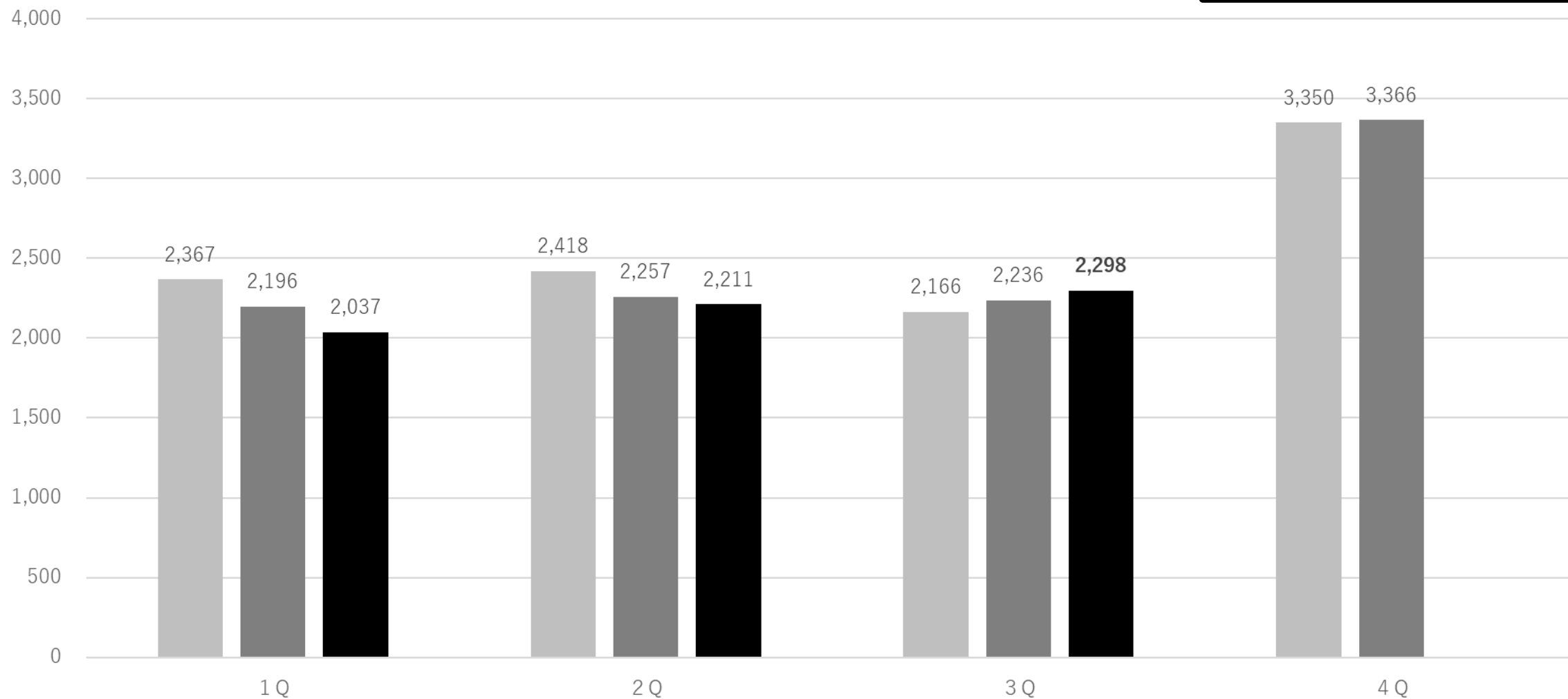
2026年2月期 第3四半期（3か月） 損益計算書

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	3Q 実績	3Q 実績	前年同期比 差額	増減率
売上高	2,298	2,236	62	2.8%
売上総利益	688	690	△2	-0.4%
売上高比	29.9%	30.9%	-1.0pt	
販売費及び一般管理費	713	738	△24	-3.3%
売上高比	31.1%	33.0%	-2.0pt	
営業損失（△）	△25	△47	21	-
売上高比	-1.1%	-2.1%	-	
経常損失（△）	△34	△19	△14	-
四半期純損失（△）	△39	13	△52	-

四半期別業績数値 純売上高

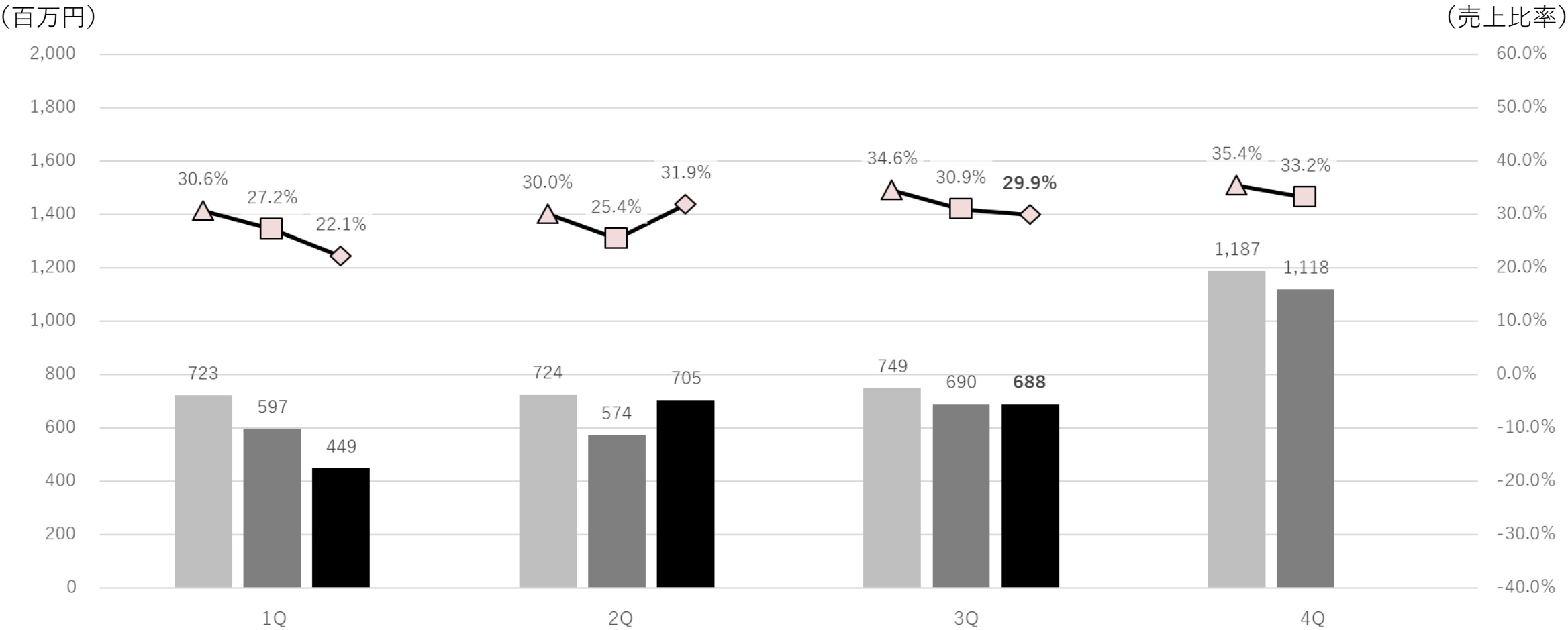
(百万円)

四半期別比較＜純売上高＞



四半期別業績数値 売上総利益

四半期別比較＜売上総利益＞



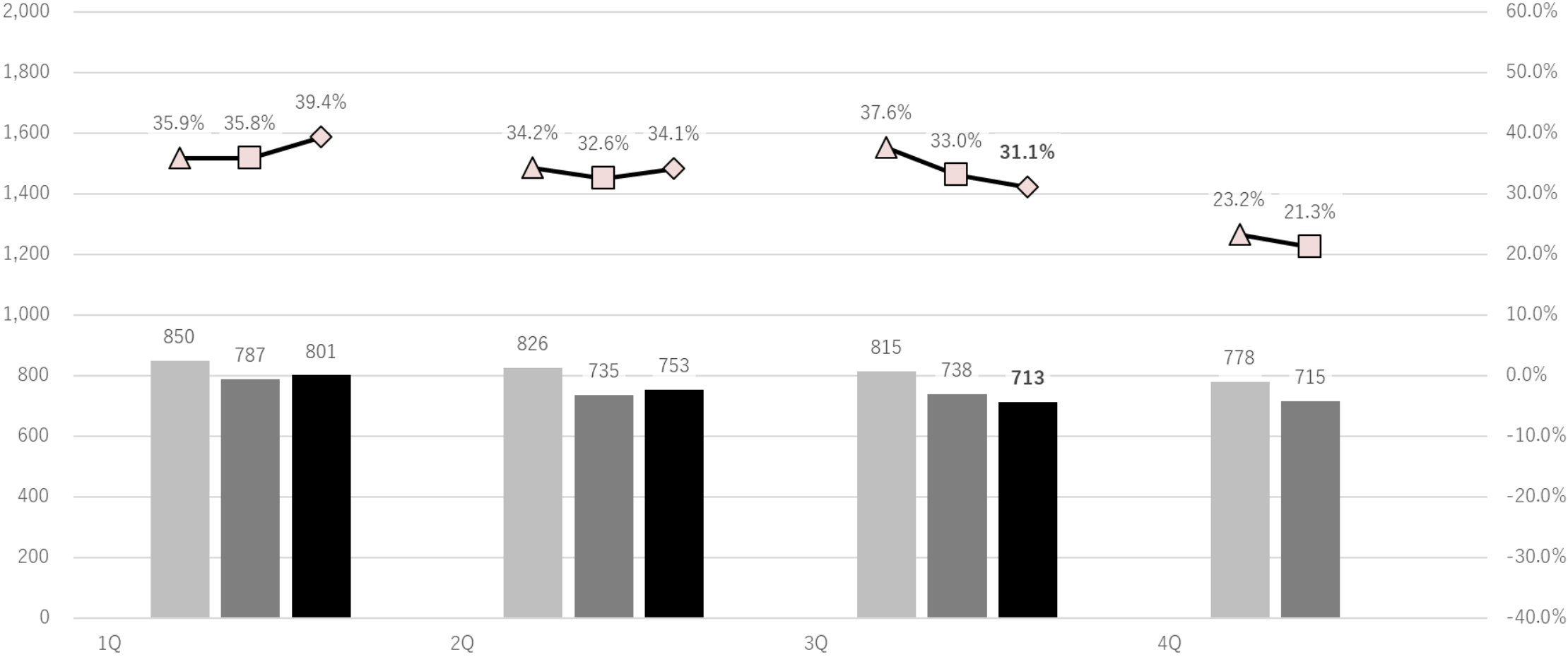
四半期別業績数値 販売費及び一般管理費

四半期別比較＜販売費及び一般管理費＞



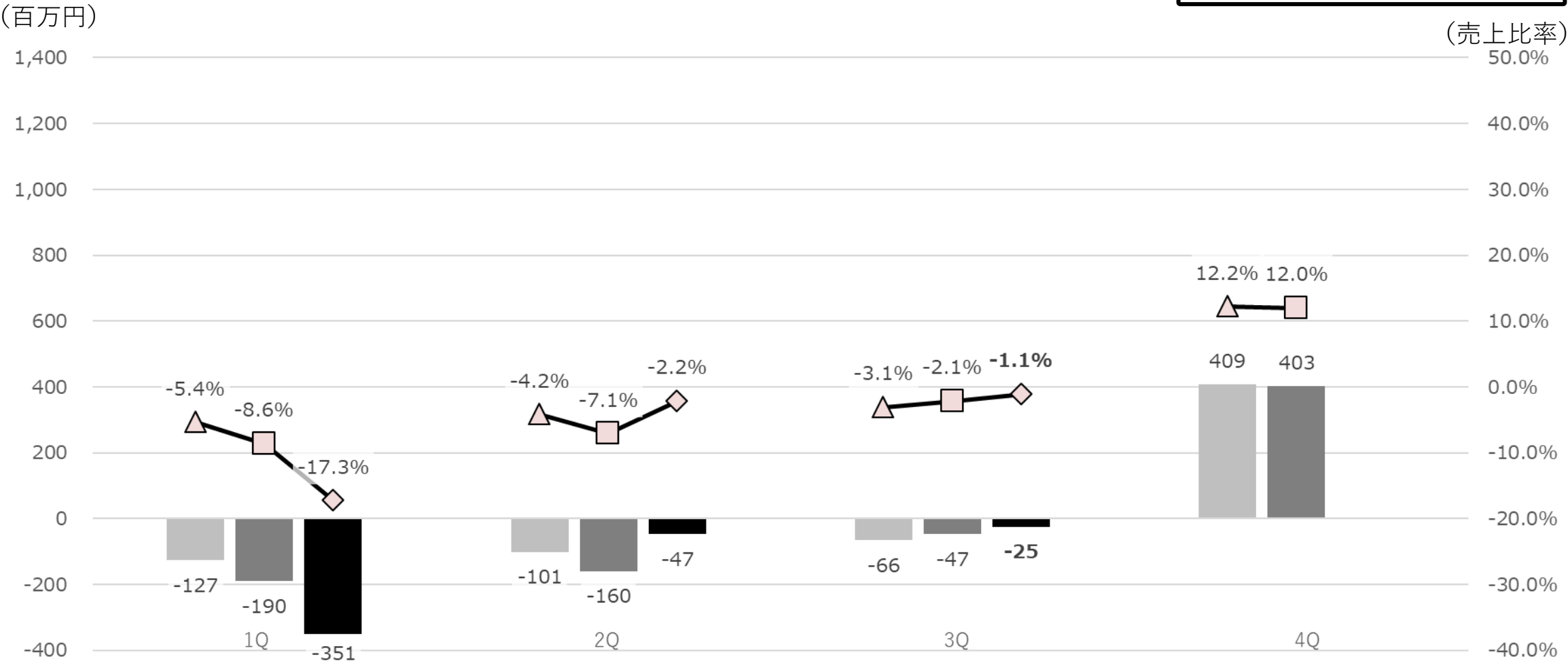
(百万円)

(売上比率)



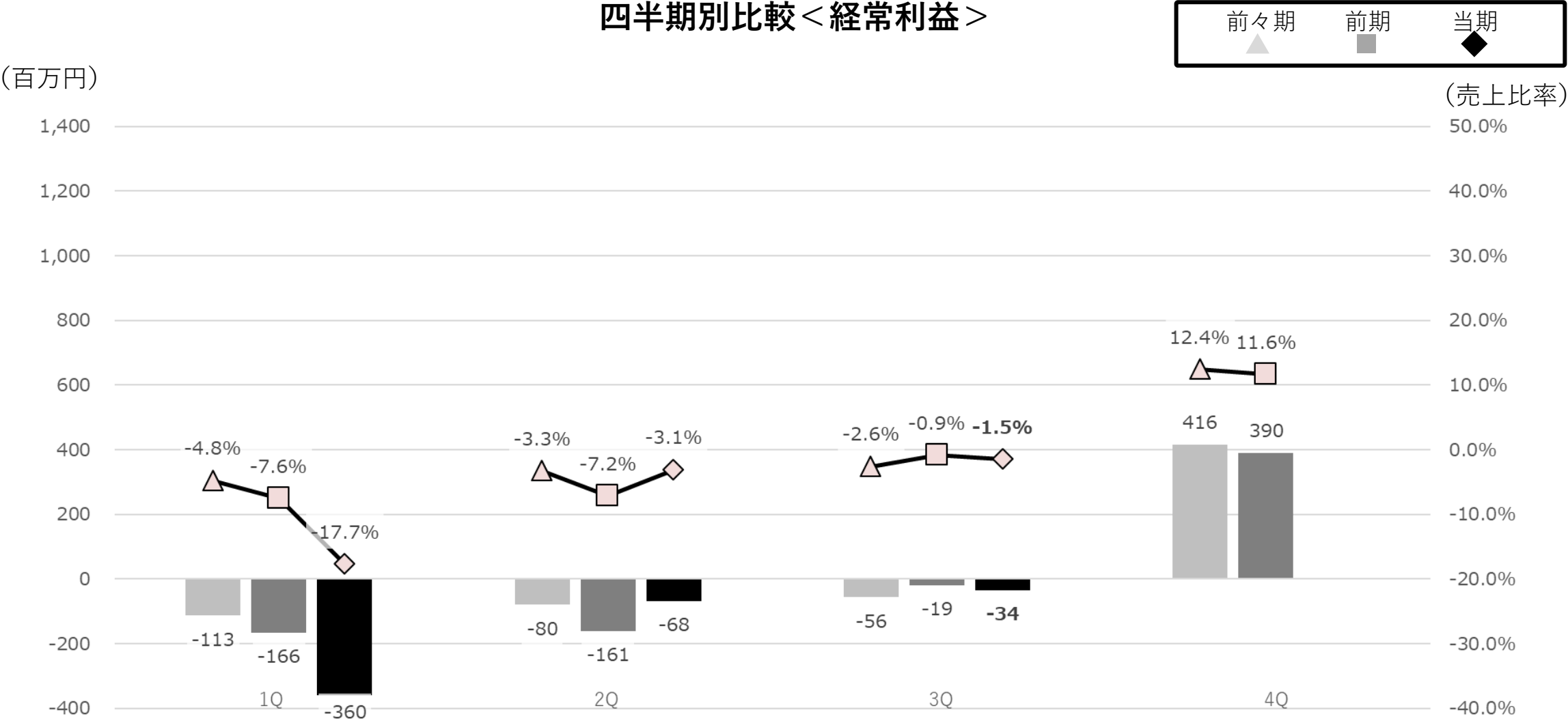
四半期別業績数値 営業利益

四半期別比較＜営業利益＞



四半期別業績数値 経常利益

四半期別比較＜経常利益＞



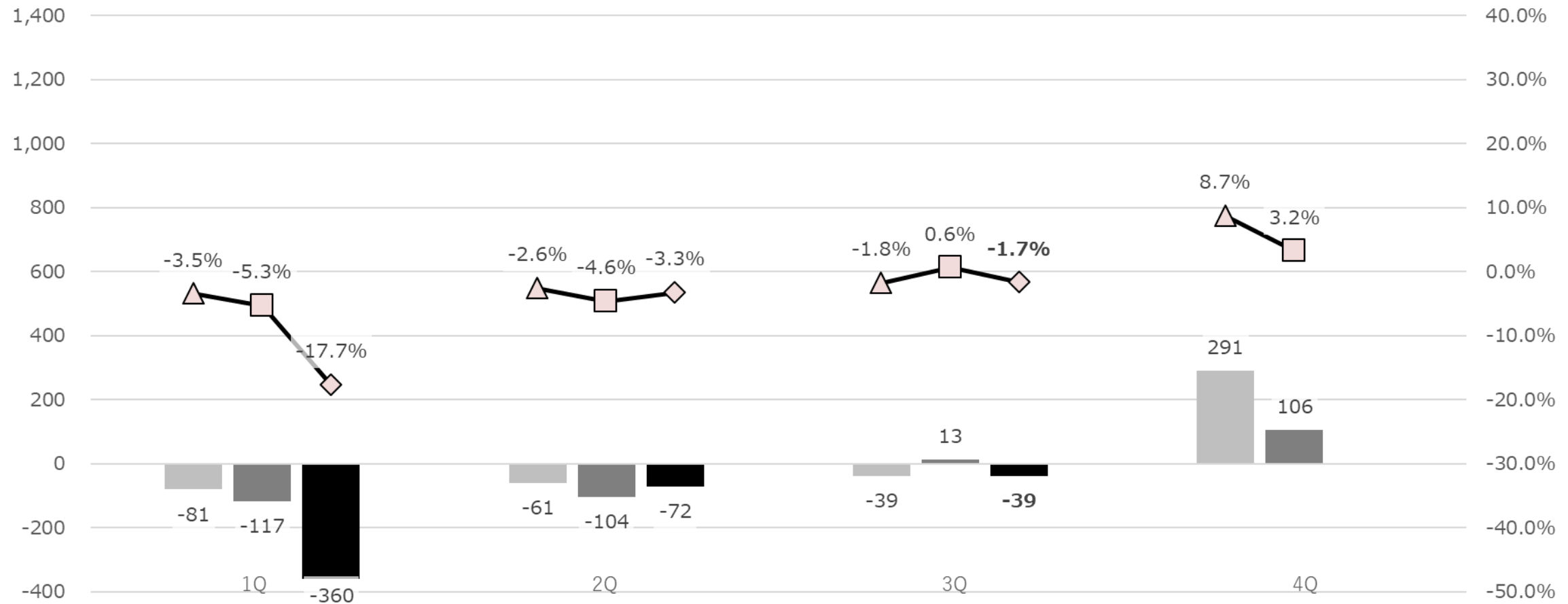
四半期別業績数値 四半期純利益

四半期別比較＜四半期純利益＞



(売上比率)

(百万円)





TWINBIRD